

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 161

事務事業名	収納率向上特別対策事業
-------	-------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	国保けんこう課		
課長名	松永 龍二	内線	115
担当者名	橋本 学	内線	110

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020402	暮らしのセーフティネットの充実
施策		社会保障制度の安定的運営
関連施策		

会計	国民健康保険事業特別会計		
款	1	総務費	
項	5	収納率向上特別対策事業費	
目	1	収納率向上特別対策事業費	
事業コード	020000	収納率向上特別対策事業	

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 国民健康保険税の納税義務者		
意図	対象をどのような状態にしたいか きめ細やかな納税指導と適正な滞納処分により、国税の滞納件数の減少と収納率の向上を図り、被保険者間の税負担の公平性を確保しながら、国保財政の安定的な運営に努める。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 口座振替の推進やコンビニ収納の実施など納めやすい状況を整備する。滞納者に対しては、きめ細やかな納税指導を行うとともに督促状、催告書の発行、電話催告、短期保険証の交付、資格証明書の発行、財産の差押え等の実施などの収納対策を行う。また、平成23年度から本格的に動産差押の手段として捜索を実施しているが、滞納者の納税意識を高める効果が出ていることから、今後も継続して捜索を実施し、収納率向上に努める。		
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	国民健康保険法・地方税法・国税徴収法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 滞納世帯数	計画値	2,250	2,000	1,700	1,500	
		実績値	1,973	1,773	1,593		
		達成度	%	87.7%	88.7%	93.7%	
活動指標	② 口座振替件数	計画値	3,900	3,900	3,900	3,900	
		実績値	3,647	3,619	3,584		
		達成度	%	93.5%	92.8%	91.9%	
成果指標	① 現年度分収納率(一般・退職)	計画値	91.00	92.00	92.00	94.64	
		実績値	91.33	92.45	93.46		
	② 滞納分収納率(一般・退職)	計画値	12.70	25.00	25.00	25.00	
		実績値	25.50	28.81	27.53		
	③ 収納率/調定額	達成度	%	200.8%	115.2%	110.1%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	5,445	5,907	10,460	7,763	7,582	7,582	7,582	0
国庫支出金								
県支出金	5,419	5,882	10,451	6,283	5,898	7,564	7,564	
地方債								
その他	2	9	9	18	14	18	18	
一般財源	24	16		1,462	1,670			
② 人件費(千円)	4,500	3,494	3,283	3,338	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.35	0.25	0.25	0.25	収納率向上 特別対策	収納率向上 特別対策	収納率向上 特別対策	
時間外勤務(時間)	27	16	20	20				
嘱託等人数(人)	0.90	0.85	0.80	0.80				
フルコスト(①+②千円)	9,945	9,401	13,743	11,101				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	前年度から継続して、きめ細やかな納税指導と徹底した財産調査に基づいた適正な滞納処分を行ったことなどから、収納率は前年度比1.01ポイント向上した。 また、「長崎県市町合同公売会inおおむら」の開催によって、200人超の来場者があり、243点出品中192点が落札されるなど成果を上げた。さらに公売会を通じ、県内市町間の連携強化と情報の共有化が図られた。
事業が抱える問題・課題等	これまでの滞納処分により、滞納額は大幅に圧縮されたが、困難な案件が残っているため、滞納繰越分の収納額や収納率は伸び悩んでいる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

県の特別調整交付金が主な財源であり、一般財源分の削減の余地はない。
 なお、県の特別調整交付金については、交付基準に沿った形で、事業の拡大や新しい取組を計画していく必要がある。

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成28年度も引き続き積極的な滞納処分を行い、他市で開催される合同公売会やインターネット公売に参加し、差押動産の換価に力を入れる。今年度はポートレース大村において合同公売会を開催する。また、きめ細やかな納税相談により、滞納者の納税意識を高める。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	国保税収納率向上による税の公平性の確保と国民健康保険事業の安定的運営に効果的である。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。